

令和4年度 事業経営評価

団体名	(公財)大阪市救急医療事業団	所管所属名	健康局
-----	----------------	-------	-----

中期目標	当該外郭団体の事業経営を通じて達成しようとする本市の行政目的又は施策の具体的な内容
	大阪府医療計画に基づき市町村の役割としてある初期救急医療体制を確保するため、市内において休日・夜間の急病診療事業を実施すること。
	中期目標期間
	令和2年9月11日から令和6年3月31日までの4年間
	中期目標の期間終了時において、の行政目的又は施策によって実現しようとしている状態
	市内における休日・夜間の急病診療事業を実施するため医師等の医療従事者の確保や後送病院との連携がなされ、休日・夜間の急病診療事業が中期目標の期間を通じて安定的かつ継続的に実施できている状態

外郭団体の自己評価 当該事業年度の評価 市の評価	当該事業年度の指標及び目標に基づく評価を踏まえた団体の総合的な評価	
	令和4年においては、引き続きコロナ禍により通常の休日・夜間の急病診療事業が困難な中、研修内容の充実や後送病院確保等の取組みを実施し、患者診療実態調査票については回収作業が進んでいる。事業団として、医療従事者の確保と後送病院の安定的な確保の取組みができたことにより、初期救急医療体制確保に繋げることができた。	
	最終目標達成見込み	最終目標達成に向けた課題及び課題解消に向けた次年度以降の取組について
	ア	コロナ禍の影響も懸念されるが、最終目標達成のためには、以下の取組をしっかりと進めることが必要である。 医療従事者の確保については、PPE(個人用防護具)等感染予防策や研修の充実に努める。 患者診療実態調査票の回収については、未回収分の再送付や督促回数を増やすことに加えて、直接訪問するなどにより年内の回収率向上を目指す。 また、後送病院の確保については、患者診療実態調査票の回収促進、看護師や出務医師への聞き取りを継続し、医療機関に関する情報収集を行うことなどにより、後送病院数を維持できるよう努める。
	ア：順調 イ：遅れあり ウ：計画の見直し必要	
	当該事業年度の指標及び目標に基づく評価を踏まえた本市の総合的な評価	
	新型コロナウイルス感染症の流行の波が断続的に発生する中、初期救急医療に求められる医療従事者の確保と適正な後送病院の安定的な確保に向けた取組が進められた。その結果、年度計画に掲げたほとんどの目標が達成できており、休日・夜間の初期救急医療体制が確保でき、市民に対し急病診療が継続して提供できたことは評価できる。年度計画で掲げた指標の中で、「患者診療実態調査票の回収率」と「新規後送病院数」の目標が未達成となったが、次年度の目標達成に向け、引き続きの取組を期待したい。	
	助言等及び講ずるよう求める措置の内容【大阪世外郭団体等への関与及び監理に関する条例第7条第5項】(必要な場合のみ)	

●最終年度の前年度【中期目標の期間を通じた評価】

中期目標の期間を通じた評価	外郭団体の自己評価	中期計画に定めた指標及び目標に基づく評価を踏まえた団体の総合的な評価 患者診療実態調査票の回収率及び令和4年の新規後送病院数については目標を達成できなかったが、その他の項目については目標を達成できている。 コロナ禍の影響も懸念されるが、着実に取組みを進めることによって中期計画に定めた指標及び目標を達成することができ、結果として初期救急医療体制を確保・維持できると考えている。
	市の評価	中期計画に定めた指標及び目標に基づく評価を踏まえた本市の総合的な評価 患者診療実態調査票の回収率の目標が令和3年から2年連続で未達成になっていることに加え、令和4年は新規後送病院数についての目標も未達成となっている。 来年度は中期計画の最終年度であり、今後も新型コロナウイルス感染症の流行状況を注視しながらになるが、引き続き初期救急医療体制を確保・維持するため、医師等の医療従事者の確保や後送病院との連携の取組みを着実に進め、休日・夜間の急病診療事業が安定的かつ継続的に実施できるよう取り組まれない。
		助言等及び講ずるよう求める措置の内容【大阪市外郭団体等への関与及び監理に関する条例第7条第5項】（ 必要な場合のみ ）

対象事業活動の実績に関する評価(事業活動に関する事項)

取組 - 1

(分野ごとの評価)

中期計画

団体が中期計画期間中に行政目標達成に向けて取り組む具体的な内容

【医療従事者の確保】

(ア) 看護師に対する採用時研修の実施 (イ) 看護師に対するスキルアップ研修の実施
 (ウ) 看護師に対する感染予防研修の実施 (エ) 勤続3年以上の看護師の割合

年度計画達成状況

【計画】団体が当該事業年度に取り組む具体的な内容

(ア) 看護師に対する採用時研修の実施
 ・ 休日急病診療所特有の業務に携わるにあたっての知識や技術の習得を目的として、全ての新規採用者に対して経験やスキルに応じた研修を個別に実施する。
 ・ 指導看護師の意見を取り入れ、研修マニュアルや指導内容の更なる充実を図る。
 ・ 受講者アンケートにより受講者の満足度を確認し、改善に努める。

【実績】団体が当該事業年度に取り組んだ具体的な内容

(ア) 看護師に対する採用時研修の実施
 ・ 1月1日から12月31日までの全ての新規採用者(9名)に対して、経験やスキルに応じた研修を個別に実施した。
 ・ 指導看護師の意見を取り入れ、引き続きコロナ禍に対応するために感染症対策の比重を大きくするなど研修マニュアルや指導内容の充実を図った。
 ・ 受講者アンケートにより、全受講者から満足であるとの回答を得た。

指標

採用時研修における受講者満足度

R2

R3

R4

R5【最終】

目標値

80%

80%

80%

80%

実績値

100%

100%

100%

当該年度の目標達成状況

a (i)

《達成状況》

a: 目標達成: () 取組は予定どおり実施 () 取組を予定どおり実施しなかった
 b: 目標未達成: () 取組は予定どおり実施 () 取組を予定どおり実施しなかった

年度計画達成状況

【計画】団体が当該事業年度に取り組む具体的な内容

(イ) 看護師に対するスキルアップ研修の実施
 ・ 知識や技術の習得を目的として、初期救急医療業務を中心に医療全般に関するテーマの研修を、中堅看護師等を対象に1回実施する。
 ・ 医師会等の外部機関の研修を取り入れるなど多種多様な研修を受講させる。
 ・ 受講者アンケートにより受講者の満足度を確認し、改善に努める。

【実績】団体が当該事業年度に取り組んだ具体的な内容

(イ) 看護師に対するスキルアップ研修の実施
 ・ コロナ禍においては集合研修が困難なため、「接遇の基本のおさらい」をテーマとしたweb動画の視聴及び「看護記録の書き方の基本」に関する資料の声出し確認により実施し、所属する全看護師が参加できた。
 ・ 受講者アンケートにより、全受講者から満足であるとの回答を得た。

指標

スキルアップ研修の受講者満足度

R2

R3

R4

R5【最終】

目標値

80%

80%

80%

80%

実績値

100%

100%

100%

当該年度の目標達成状況

a (i)

《達成状況》

a: 目標達成: () 取組は予定どおり実施 () 取組を予定どおり実施しなかった
 b: 目標未達成: () 取組は予定どおり実施 () 取組を予定どおり実施しなかった

年度計画達成状況

【計画】団体が当該事業年度に取り組む具体的な内容

(ウ) 看護師に対する感染予防研修の実施
 ・ 新型コロナウイルス感染症等の新興感染症を含む感染症について、予防知識の習得を目的とした感染予防研修を、中堅看護師等を対象に1回実施する。
 ・ 昨年は、感染症予防や受講者の参加しやすさの観点から集合研修やDVD研修よりweb研修を希望する意見が多かったため、今年もweb研修を検討する。
 ・ 受講者アンケートにより受講者の満足度を確認し、改善に努める。

【実績】団体が当該事業年度に取り組んだ具体的な内容

(ウ) 看護師に対する感染予防研修の実施
 ・ 新型コロナウイルス感染症等の新興感染症を含む感染症の予防について、web動画視聴による研修を実施し、所属する全看護師が参加できた。
 ・ 受講者アンケートにより、全受講者から満足であるとの回答を得た。

指標

感染予防研修の実施回数

R2

R3

R4

R5【最終】

目標値

1回

1回

1回

1回

実績値

1回

1回

1回

当該年度の目標達成状況

a (i)

《達成状況》

a: 目標達成: () 取組は予定どおり実施 () 取組を予定どおり実施しなかった
 b: 目標未達成: () 取組は予定どおり実施 () 取組を予定どおり実施しなかった

【計画】団体が当該事業年度に取り組む具体的な内容		【実績】団体が当該事業年度に取り組んだ具体的な内容					
年度計画達成状況	(工)勤続3年以上の看護師の割合 ・急病診療所においては、救急医療の経験が豊富な看護師が安定的に雇用され診療の補助を行うことにより医師の負担が軽減され、急病診療所の安定的な運営を保つことができることから、上記(ア)～(ウ)の取り組みの効果を評価する指標として、勤続3年以上の看護師の割合を単年度においても評価する。		(工)勤続3年以上の看護師の割合 ・PPE(個人用防護具)の確保や発熱患者の隔離を徹底するなど、新型コロナウイルス感染症へのあらゆる感染予防策を実施することによって看護師の不安を取り除き、良好な職場環境維持に努めた。 ・勤続3年以上の看護師の割合目標(60%)を達成(75%)することができた。				
	指標	勤続3年以上の看護師の割合					
		R2	R3	R4	R5【最終】		
	目標値	60%	60%	60%	60%		
	実績値	64%	66%	75%			
当該年度の目標達成状況		a(i)	《達成状況》 a: 目標達成: ()取組は予定どおり実施 ()取組を予定どおり実施しなかった b: 目標未達成: ()取組は予定どおり実施 ()取組を予定どおり実施しなかった				
外郭団体の自己評価	指標の達成状況	A	A: 指標全部達成 B: 指標全部未達成 C: 指標一部未達成		中期計画に対する進捗状況 【当該事業年度】	ア ア: 「順調」 イ: 「遅れあり」 ウ: 「計画の見直し必要」	
	当該事業年度の達成状況について						
	・採用時研修やスキルアップ研修の受講者満足度については、全受講者から満足したとの回答を得て、目標を達成することができた。 ・感染予防研修についても、期間中に1回実施することができた。 ・勤続3年以上の看護師の割合については、全看護師数95名中71名(75%)を確保することができた。						
	最終目標(中期計画)達成に向けた課題及び課題解消に向けた次年度以降の取組について						
	・採用時研修やスキルアップ研修の受講者満足度については、参加者のうち80%以上が目標であるが、令和4年同様に100%の満足度を目指し、更なる研修内容の充実に努める。 ・感染予防研修については、令和5年も対象者が参加しやすいwebを利用した実施を検討する。 ・勤続3年以上の看護師の確保についても、各種研修の実施や職場環境の改善に努め、現状を維持できるよう努める。						
市の審査	中期計画に対する進捗状況 【当該事業年度】	ア	ア: 「順調」 イ: 「遅れあり」 ウ: 「計画の見直し必要」		「様式1: 中期目標」 に対する取組の有効性	A A: 有効であり、継続して推進 B: 有効でないため、取組を見直す	
	「外郭団体の自己評価」に対する審査結果						
	採用時研修、スキルアップ研修、感染予防研修にかかる受講者アンケート結果を確認したところ、全受講者が満足であると回答しており、研修に係る取組は順調に進捗した。また、勤続3年以上の看護師の割合も昨年に引き続き目標を上回っていることから、外郭団体の自己評価は妥当である。						
	「中期目標」達成の視点からみた審査結果						
目標として掲げた各種研修を確実に実施するとともに、感染予防対策を含む職場環境の改善を行っている。 また、勤続3年以上の看護師の割合が目標である60%を3年連続で超えており、とくに令和4年は75%と高い割合となった。 新型コロナウイルス感染症の終息が見えない中においても、このように目標を確実に達成していることは評価できる。							

●最終年度の前年度【中期目標の期間を通じた評価】

中期計画達成状況

指標	採用時研修における受講者満足度											
	R2	中期計画 進捗率	R3	中期計画 進捗率	R4	中期計画 進捗率	R5【最終】	中期計画 進捗率				
目標値	80%	-	80%	-	80%	-	80%	-				
実績値	100%	-	100%	-	100%	-		-				
中期計画期間における具体的な取組内容（実績）												
・指導看護師の意見を取り入れ、研修マニュアルや指導内容の充実を図りながら、令和2年(9月～12月)は4名、令和3年は10名、令和4年は9名の新規採用者に対して経験やスキルに応じた研修を個別に実施し、受講者アンケートにより全受講者が満足であるとの回答を得ている。												
指標	スキルアップ研修の受講者満足度											
	R2	中期計画 進捗率	R3	中期計画 進捗率	R4	中期計画 進捗率	R5【最終】	中期計画 進捗率				
目標値	80%	-	80%	-	80%	-	80%	-				
実績値	100%	-	100%	-	100%	-		-				
中期計画期間における具体的な取組内容（実績）												
・令和2年は大阪府医師会主催の小児救急研修会に中堅看護師8名が参加し、令和3年及び令和4年は全看護師を対象としたweb研修を実施し、受講者アンケートにより全受講者が満足であるとの回答を得ている。												
指標	感染予防研修の実施回数											
	R2	中期計画 進捗率	R3	中期計画 進捗率	R4	中期計画 進捗率	R5【最終】	中期計画 進捗率				
目標値	1回	-	1回	-	1回	-	1回	%				
実績値	1回	-	1回	-	1回	-		%				
中期計画期間における具体的な取組内容（実績）												
・令和2年は中堅看護師23名を対象にDVD視聴による研修を実施し、令和3年及び令和4年は全看護師を対象としたweb研修を実施した。												
指標	勤続3年以上の看護師の割合											
	R2	中期計画 進捗率	R3	中期計画 進捗率	R4	中期計画 進捗率	R5【最終】	中期計画 進捗率				
目標値	60%	-	60%	-	60%	-	60%	%				
実績値	64%	-	66%	-	75%	-		%				
中期計画期間における具体的な取組内容（実績）												
・令和2年から令和4年において、PPE(個人用防護具)の確保や発熱患者の隔離を徹底するなど、新型コロナへのあらゆる感染予防策を実施することによって看護師の不安を取り除き、良好な職場環境維持に努めたことにより、各年において勤続3年以上の看護師の割合目標(60%)を達成することができた。												

外郭団体の自己評価	指標の達成状況	A A：指標全部達成 B：指標全部未達成 C：指標一部未達成	中期計画に対する進捗状況 【中期計画期間】	ア ア：「順調」 イ：「遅れあり」 ウ：「計画の見直し必要」
	中期計画期間の達成状況について			
	・各年において、計画に沿った取組を行うことにより、全ての指標について目標を達成することができた。 ・令和5年も引き続き取組を行うことで、中期計画期間の目標達成は可能であると考えている。			

市の審査

中期計画に対する進捗状況 【中期計画期間】	ア	ア：「順調」 イ：「遅れあり」 ウ：「計画の見直し必要」	「様式1：中期目標」 に対する取組の有効性	A	A：有効であり、継続して推進 B：有効でないため、取組を見直す
「外郭団体の自己評価」に対する審査結果					
これまでの各年において、年度計画による取組を着実に進めることにより全ての指標に係る目標を達成できており、外郭団体の自己評価は妥当である。					
「中期目標」達成の視点からみた審査結果					
採用時研修、スキルアップ研修、感染予防研修を計画どおり実施し、受講者からも高い満足度を得ている。これらの研修に加え、新型コロナウイルス感染症への対策を徹底するなど、看護師が安心して勤務できる環境を整えている。これらの取組が各年における勤続3年以上の看護師の高い割合(60%以上)の達成に繋がっており、引き続き医療従事者の確保ができていることは評価できる。					

対象事業活動の実績に関する評価(事業活動に関する事項)

取組 - 2

(分野ごとの評価)

中期計画

団体が中期計画期間中に行政目標達成に向けて取り組む具体的な内容

【後送病院の安定的な確保】

(ア) 後送病院に送付した患者診療実態調査票の回収 (イ) 患者診療実態調査票に記載された意見等への対応
 (ウ) 新たに後送病院を希望する医療機関への取組

年度計画達成状況

【計画】団体が当該事業年度に取り組む具体的な内容

(ア)後送病院に送付した患者診療実態調査票の回収
 ・患者を受け入れた後送病院に対して、調査票を送付し、後送した患者の実態把握を行うとともに、意見や要望等があれば調査票に記載してもらうことで問題点や課題の把握・解消に努める。
 ・患者を受け入れた全ての後送病院に対して調査票(令和4年1月から11月送付分)の回収を行い、回収率100%を目標に取組む。
 ・調査票の提出が遅い病院に対して電話にて返送を促す。

【実績】団体が当該事業年度に取り組んだ具体的な内容

(ア)後送病院に送付した患者診療実態調査票の回収
 ・1月1日から11月30日までに患者を受け入れた後送病院に対して患者診療実態調査票(871件)を送付し、意見や要望等があれば調査票への記載をお願いした。
 ・上記のうち、12月31日までの回収数は822件(94%)であるが、未回収の調査票(49件)については電話にて返送を促しており、年度内に回収できる見込みである。

指標

患者診療実態調査票の回収率

R2

R3

R4

R5【最終】

目標値

100%

100%

100%

100%

実績値

79%

98%

94%

当該年度の目標達成状況

b(i)

《達成状況》

a: 目標達成: ()取組は予定どおり実施 ()取組を予定どおり実施しなかった

b: 目標未達成: ()取組は予定どおり実施 ()取組を予定どおり実施しなかった

年度計画達成状況

【計画】団体が当該事業年度に取り組む具体的な内容

(イ)患者診療実態調査票に記載された意見等への対応
 ・患者を受け入れた後送病院に対して、調査票を送付し、後送した患者の実態把握を行うとともに、意見や要望等があれば調査票に記載してもらうことで問題点や課題の把握・解消に努める。
 ・後送病院からの意見に対しては、対応の方向性や対応結果、考え方等について返答を行うとともに、必要に応じて出務医師へのフィードバックを行い、対応率100%を目標に取組む。

【実績】団体が当該事業年度に取り組んだ具体的な内容

(イ)患者診療実態調査票に記載された意見等への対応
 ・1月1日から11月30日までに患者を受け入れた後送病院に対して患者診療実態調査票(871件)を送付し、意見や要望等があれば調査票への記載をお願いした。
 ・回収済みの調査票に記載された意見等は2件あったが、対応が必要なものはなく、事業団内部や出務医師に情報共有した。

指標

意見等に対する対応率

R2

R3

R4

R5【最終】

目標値

100%

100%

100%

100%

実績値

100%

100%

100%

当該年度の目標達成状況

a(i)

《達成状況》

a: 目標達成: ()取組は予定どおり実施 ()取組を予定どおり実施しなかった

b: 目標未達成: ()取組は予定どおり実施 ()取組を予定どおり実施しなかった

年度計画達成状況

【計画】団体が当該事業年度に取り組む具体的な内容

(ウ)新たに後送病院を希望する医療機関への取組
 ・令和3年の新規後送病院数や全体の後送病院数を踏まえ、後送病院数が減少している場合にはより積極的に働きかけるなど、随時、必要な調整を行い、令和4年に1病院以上の参入を目標とする。

【実績】団体が当該事業年度に取り組んだ具体的な内容

(ウ)新たに後送病院を希望する医療機関への取組
 ・現在のコロナ禍においては、新規の後送病院参入を増やすことは困難であるが、出務医師や看護師等からの聞き取りを中心に新たに後送病院を希望する可能性のある医療機関の情報を収集した。
 ・結果として、新規後送病院を確保することはできなかったが、引き続き取組を進めていく。

指標

新規後送病院数

R2

R3

R4

R5【最終】

目標値

—

1病院

1病院

1病院

実績値

—

1病院

0病院

当該年度の目標達成状況

b(i)

《達成状況》

a: 目標達成: ()取組は予定どおり実施 ()取組を予定どおり実施しなかった

b: 目標未達成: ()取組は予定どおり実施 ()取組を予定どおり実施しなかった

外郭団体の自己評価	指標の達成状況	C	A：指標全部達成 B：指標全部未達成 C：指標一部未達成	中期計画に対する進捗状況 【当該事業年度】	イ	ア：「順調」 イ：「遅れあり」 ウ：「計画の見直し必要」
	当該事業年度の達成状況について					
	・後送病院に送付した患者診療実態調査票の回収については、一部未回収ではあるが、該当病院からは電話にて後日送付する旨の確約を得ており、年度内には100%の回収が実現できる見込みである。 ・意見等については2件あったが、対応が必要なものはなく、事業団内部や出務医師に情報共有した。 ・現在のコロナ禍においては、新たに後送病院を希望する医療機関を見つけることは極めて困難であるが、出務医師や看護師等から聞き取りを行い、可能性のある医療機関の情報を収集した。 ・結果として、新規後送病院を確保することはできなかったが、引き続き取組みを進めていく。					
外郭団体の自己評価	最終目標(中期計画)達成に向けた課題及び課題解消に向けた次年度以降の取組について					
	・患者診療実態調査票の回収は、新型コロナウイルス感染症への対応による後送病院の業務繁忙などコロナ禍の影響により一部未達成となったが、令和5年においては、未回収分の再送付や督促回数を増やすことに加えて、直接訪問するなどにより年内の回収率向上を目指す。一方、意見等に対する対応については目標を達成した。 ・後送病院の新規参入については、現在のコロナ禍においては後送を引き受ける病院側の業務繁忙による理解不足や情報不足などにより、新規に手を挙げる医療機関を見つけることが非常に難しい状況であるが、少しでも可能性のある医療機関に対しては参入条件やメリット・デメリットを直接説明するなど後送病院に対する理解を深めてもらい、必要に応じて後送病院として参入できるよう準備を進めてもらうことで、後送病院を辞退する医療機関が出てきたとしても後送病院数を維持できるよう努めていく。 ・また、既存の後送病院については連携を密にし、要望や意見などを取り入れることにより、継続しやすい環境を作っていく。					

市の審査	中期計画に対する進捗状況 【当該事業年度】	イ	ア：「順調」 イ：「遅れあり」 ウ：「計画の見直し必要」	「様式1：中期目標」 に対する取組の有効性	A	A：有効であり、継続して推進 B：有効でないため、取組を見直す
	「外郭団体の自己評価」に対する審査結果					
	二つの指標について目標が未達成であるため、引き続き、後送病院の安定的な確保に向けた取組みを継続し、目標達成に向けた改善策の確実な履行を期待したい。					
	「中期目標」達成の視点からみた審査結果 「患者診療実態調査票の回収」及び「新規後送病院数」について目標に届いていないが、調査票については、年度末までに回収見込みであり、後送病院の確保については新型コロナウイルス感染症の拡大などの周辺状況もあったためと認識している。 後送病院からの意見等に対しては、適切な対応を行っており、引き続き、既存の後送病院との連携を密にしていきたい。 未達成だった目標については、対応策を検討し、今後も、後送病院の安定的な確保に向けて取り組まれない。					

●最終年度の前年度【中期目標の期間を通じた評価】

中期計画達成状況	指標	患者診療実態調査票の回収率											
		R2	中期計画 進捗率	R3	中期計画 進捗率	R4	中期計画 進捗率	R5【最終】	中期計画 進捗率				
	目標値	100%	-	100%	-	100%	-	100%	%				
	実績値	79%	-	98%	-	94%	-		%				
	中期計画期間における具体的な取組内容（実績）												
	・患者を受け入れた後送病院に対して患者診療実態調査票を送付し、意見や要望等があれば調査票への記載をお願いした。 ・各年とも12月31日までの回収率は目標未達成であるが、未回収の調査票については電話により返送を促すことによって、年度内に全件回収できた。（令和4年は見込み）												
	指標	意見等に対する対応率											
		R2	中期計画 進捗率	R3	中期計画 進捗率	R4	中期計画 進捗率	R5【最終】	中期計画 進捗率				
	目標値	100%	-	100%	-	100%	-	100%	%				
	実績値	100%	-	100%	-	100%	-		%				
中期計画期間における具体的な取組内容（実績）													
・患者を受け入れた後送病院に対して患者診療実態調査票を送付し、意見や要望等があれば調査票への記載をお願いした。 ・令和2年（9月～12月）は4件、令和3年は7件、令和4年は2件の意見等があったが、対応が必要な事案についてはすぐに対応し、その他については事業団内部や出務医師に情報共有した。													
指標	新規後送病院数												
		中期計画 進捗率	R3	中期計画 進捗率	R4	中期計画 進捗率	R5【最終】	中期計画 進捗率					
目標値	—	—%	1病院	-	1病院	-	1病院	%					
実績値	—	—%	1病院	-	0病院	-		%					
中期計画期間における具体的な取組内容（実績）													
・現在のコロナ禍においては後送を引き受ける病院側の業務繁忙による理解不足や情報不足などにより、新規に手を挙げる医療機関を見つけることが非常に難しい状況であるが、少しでも可能性のある医療機関に対しては参入条件やメリット・デメリットを直接説明するなど後送病院に対する理解を深めてもらい、必要に応じて後送病院として参入できるよう準備を進めてもらうことで、後送病院を辞退する医療機関が出てきたとしても後送病院数を維持できるよう努めた。 ・結果として、令和3年は目標を達成できたが、令和4年は達成できなかった。（令和2年は対象期間が短い目標設定せず。）													

外郭団体の自己評価	指標の達成状況	C	A：指標全部達成 B：指標全部未達成 C：指標一部未達成	中期計画に対する進捗状況 【中期計画期間】	イ	ア：「順調」 イ：「遅れあり」 ウ：「計画の見直し必要」
	中期計画期間の達成状況について					
	・「患者診療実態調査票の回収率」及び「新規後送病院数」については目標を達成できなかった。 ・「最終目標(中期計画)達成に向けた課題及び課題解消に向けた次年度以降の取組について」欄に記載の取組を進めることにより、目標達成を目指す。					

市の審査	中期計画に対する進捗状況 【中期計画期間】	イ	ア：「順調」 イ：「遅れあり」 ウ：「計画の見直し必要」	「様式1：中期目標」に対する取組の有効性	A	A：有効であり、継続して推進 B：有効でないため、取組を見直す
	「外郭団体の自己評価」に対する審査結果					
	これまでの各年において、年度計画による取組を進めており、中期計画に沿った取組は概ね順調であるが、一部の指標について目標を達成できておらず、中期計画に対する進捗状況は「遅れあり」とした。しかしながら、中期目標に対する有効性は認められるため、取組は継続して推進する必要がある。					
	「中期目標」達成の視点からみた審査結果					
後送病院の安定的な確保は、初期救急医療体制を確保するために非常に重要な取組であることから、既存の後送病院と引き続き連携しながら、新規の後送病院の確保に向けても取り組まれない。						